



商工会議所は、明治11(1878)年に、商工業者の意見を集約し、政府に建議要望等を行う機関として初めて東京に創設され、以後、現在までに全国514カ所に設立されている、あらゆる業種・業態の商工業者からなる「地域総合経済団体」です。

商工会議所数：514
総会員数：129万会員

◆提言活動(日本再生戦略)

「中小企業と地域の成長を日本再生のエンジンに」 日本の再生に向けて提言



古川大臣(右)に提言の実現を求める岡村会頭



石田副大臣(左)に提言書を手渡す中村専務理事

岡村会頭 「中小企業の活性化を日本再生戦略の柱に」

古川大臣 「中小企業や地域の活性化が重要」

日本商工会議所は6月25日、「日本の再生に向けての提言－中小企業と地域の成長を日本再生のエンジンに－」を取りまとめ、野田佳彦総理大臣や関係閣僚をはじめ政府・政党などに提出した(宛先約700ヶ所)。

日本商工会議所の岡村正会頭は28日、古川元久国家戦略担当大臣を訪問。同提言を手渡し、中小企業の活性化を、今夏に政府が取りまとめる日本再生戦略の柱に据えることを強く求めた。

岡村会頭は、古川大臣との懇談で、「日本再生戦略では、中小企業の活性化を柱に据えてほしい」と訴えるとともに、守り中心の中小企業政策から攻めの政策へと転換していく必要性を強調した。これを受け古川大臣は、「中小企業や地域の活性化が重要であるとの認識は持っている」

と応じた。

政府は、昨年12月に「日本再生の基本戦略」を策定。現在、個別の目標や達成時期、工程などを具体化した「日本再生戦略」の取りまとめを進めている。日商ではこうした動きに合わせ、中小企業と地域の成長を日本再生のエンジンとすべきであることなど、商工会議所としての考え方を表明し、盛り込むべき事項を提言した。

また、これに先立ち中村利雄専務理事が、石田勝之内閣府副大臣に提言の内容を詳細に説明し、実現を働き掛けた。

日商では、全国の商工会議所会員の声を受け、今後も引き続き、中小企業の活力強化と地域活性化等に必要の要望活動を強力に展開していく。

◆提言活動(雇用戦略対話)

岡村
会頭

野田内閣総理大臣らと直接議論 「雇用のミスマッチ解消に向けた取り組みが必要」

日本商工会議所の岡村正会頭は6月12日、総理官邸で開かれた「雇用戦略対話」の第8回会合に出席。政府や産業・労働関係者、有識者らとの議論を踏まえ、「若者雇用戦略」に合意した。

同戦略は、雇用のミスマッチ解消のため、中小企業に関する情報提供の拡充や、ハローワークと学校の完全連結などを通じて、若者と中小企業のマッチングを支援していくことなどが内容に盛り込まれた。

岡村会頭は議論の中で、中小企業と学校を直接的につなぐ仕組みの構築が重要であるとして、キャリア教育やインターンシップを充実させるべきことを強調。「若者の目が、早い段階から中小企業に向くようにしてもらいたい」と訴えた。さらに、日商が4月に実施した調査で、「採用意

欲はあるが実際には採用できない」という中小企業が約22%に上ったことに言及し、雇用のミスマッチ解消に向けた取り組みの必要性を指摘した。また、29歳以下の起業家が減少傾向にあるとして、平成22年に政府が策定した新成長戦略に掲げた起業100万社・雇用400万人の実現につなげるよう要請した。

合意後にあいさつした野田佳彦内閣総理大臣は、同戦略の推進に向けた産業・労働関係者らとの連携に意欲を示し、①地域でのキャリア教育の推進、②学生に対する積極的な情報発信、③学校と労働行政の連携、の3点について協力を求めた。

日商は引き続き、中小企業の雇用環境の整備・改善に向けて、強力に働きかけていく。

◆現場に立脚した活動(商店街などの視察)

岡村
会頭

熊本市の地域活性化の取り組みを視察 「地域資源をまちづくりに生かしている点が素晴らしい」

日本商工会議所の岡村正会頭は6月20日、常議員会などに出席するため訪れた熊本市で、現場に立脚した活動の一環として、市内を視察。熊本商工会議所の田川憲生会頭からまちづくりの取り組み状況について説明を聞きながら、地域を見て回った。

まずは、昨年3月の九州新幹線全線開業に合わせて、熊本城の天守閣を望む一角に誕生した観光交流施設「桜の馬場 城彩苑(じょうさいえん)」を訪れ、歴史文化体験施設「湧々座(わくわくざ)」と飲食・物販施設「桜の小路」を視察。開業後1年余りを経た両施設の状況などについて話を聞いた。

続いて、熊本城にほど近い中心市街地にある下通商店街を訪問。平日にもかかわらずにぎわいを見せる通りを歩きながら、同商店街の活性化に取り組む下通繁栄会の松永和典会長の説明に耳を傾けた。

視察を終えた岡村会頭は、「熊本城という一つ



田川熊本商工会議所会頭(右)と松永下通繁栄会長(左)の案内で商店街を視察する岡村会頭



(城彩苑:左写真)

の地域資源をまちづくりに生かしている点が素晴らしい」と述べるとともに、昨年3月の新幹線開業や、本年4月の政令指定都市への移行を、うまく地域の活性化につなげている同地の取り組みに関心を寄せた。

日本商工会議所は引き続き、このような地域資源を活かした先進的な活動を全国へ発信し、地域活性化を支援していく。

(お問い合わせ先)

商工会議所は、地域の商工業者の応援団です。